

論文の内容の要旨

論文題目：集中治療領域の臨床疫学研究における DPC データベースの有用性

氏名： 笹渕 裕介

無作為化比較試験は最も質の高いエビデンスと考えられている一方、無作為化比較試験を行う事は必ずしも容易でない。また、無作為化比較試験の一般化可能性が高いとはいえない場合もある。このような背景から既存のデータを二次利用した後ろ向きの観察研究が増えている。今回我々は集中治療領域の複数の臨床上の疑問に答えるために、大規模データベースを用いた臨床疫学研究を行った。各研究(重症敗血症患者に対するストレス潰瘍予防の効果、小児人工呼吸患者に対するプロポフォール長期投与の影響、心臓手術におけるカルペリチド投与と術後急性腎傷害との関連、集中治療室入室患者の Body Mass Index (BMI) と死亡率の関係) を詳述し、大規模データベースを用いた集中治療領域の研究を行う利点と欠点について考察する。